



やったあ



モスクワ日本人学校

しらかば

第5号

モスクワ日本人学校
一人一人が輝く学校
笑顔あふれる学校

児童生徒数 89名

(E-mail)

school@mosnichi.com

(URL)

<http://www.mosnichi.com>

「ただいま」の声を聞くほど幸せなことはない

校長 石川 賢

気が早いですが、「今年の漢字」を予想してみました。『禍』でしょうか。それとも『災』などが選ばれるのでしょうか。いずれにしても、コロナ禍や自然災害の中で、身の安全や安心を守り、心の安らぎを得ることが容易ではない一年を反映した漢字が選ばれるのでしょうか。

『博士の愛した数式』(小川洋子著)で、80分しか記憶を維持できない主人公の『博士』が、家政婦の『私』に次のように語る行があります。

おお、そうか。君には息子がいたのか。子供が学校から帰ってくる時には、母親が迎えてやらなければならん。さあ、急ごう。子供の、ただいま、の声を聞くほど幸せなことはない。

『博士』の言葉は、我が子の身を案じ、幸せを願い、成長を祈る親の思いを代弁しているように思います。

子どもの「ただいま」の声に、心を込めて「お帰り」と応えてあげるのも私たち大人の務めでしょう。

安全・安心は学校教育の根幹にかかわることであり、どんな課題より優先します。今年は、そこに「新しい生活」が加わりました。感染予防対策を徹底することと子どもの発達段階に応じた感染予防に関する指導が柱です。また、家庭には朝の検温と健康観察の徹底をお願いしました。パンデミックで大変な状況が続く中にもかかわらず、笑顔で今日の日を迎えることができるのは、子どもたちの頑張り、皆様のご支援の賜です。改めて感謝申し上げます。

二十三日間の一学期を振り返り、それぞれの努力が記された通知表に見入る子どもたち。思わず笑顔があふれます。その笑顔が、未来に向けたメッセージなのだと思います。

あふれる笑顔



◆感染症予防対策を十分に講じた上で昼食と昼休みの時間を設けました。学校が本来の姿に戻るにつれて、新しい約束事が出てきますが、子どもたちは、友だちと過ごす時間を楽しんでいます。

◆モスエクタイムも始めました。子どもたちは、楽しそうにランニングやウォーキングに挑戦しています。身体が眠りから目覚めていない時間にあえて身体を動かすことで、一日の生活リズムが整ってきます。わずかの時間でも継続していきます。

待ちに待った出会いの日(7月17日 着任式)

- ◆学校が子どもたちの歓声に包まれました。
新しい先生方との出会いの日。特有の緊張感の中で、子どもたちの期待がふくらむ新鮮な出会いでした。「校庭での着任式」も、その新鮮な出会いの演出の一つでした。
- ◆子どもたちを代表して、中学部3年生の富澤夏穂さんが歓迎の言葉を発表しました。モス日の特色ある教育活動、アットホームな学校生活の紹介を交えながら、歓迎の思いを述べました。モス日っ子の思いの温かさと同時に絆の確かさが伝わる歓迎の言葉でした。



新規派遣の先生方とチャイと清掃等を担当するアイーダさん(右端)



学校からのお知らせ

◎二学期始めの予定

★始業式【八月二十一日(金)】

※五時間授業です。昼食をご用意ください。

さい。(下校時刻：三時二十五分)

★モス日授業研究会【九月四日(金)】

※特別日課で職員研修を行います。

(下校時刻：三時二十五分)

★中学部修学旅行説明会

【九月九日(水)】

★小学部四年授業参観

小学部五・六年修学旅行説明会

【九月十日(木)】

★小学部一・二・三年授業参観

【九月十一日(金)】

◎修学旅行

・感染症予防対策等の最新情報を収集し、行き先等について再検討しています。

・二学期早々に変更内容等をお知らせします。

◎学習発表会

・十月十日(土)に、昨年と同じボロジ

ノホールを会場に開催する予定です。

・間隔を空けて座席を配置する等の関係で座席数が足りず、保護者の皆様には、

入れ替えて鑑賞いただくことを検討しています。予めご承知おきください。